

城南第二小学校校舎改築工事 計画概要

※配置、レイアウト、規模、スケジュールは今後の詳細設計および所管行政庁の指示、調査の結果等により変更が生じる可能性があります。



■建物概要

計 画 地：品川区東品川三丁目 4 番 5 号
主 要 用 途：小学校
構 造：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
階 数：地上 5 階建て
敷 地 面 積：6,771.06 m²
建 築 面 積：2,997.05 m²
延 床 面 積：9,639.78 m²
最 高 高 さ：21.35m

■コンセプト

1. 地域をつなぎ共に育てる

- ・狭小敷地を有効活用したL型の建物やグラウンド配置とし、貫通型の昇降口により街や公園をつなぐコンパクトで明快なゾーニングとします。
- ・昇降口から近い位置に、地域と連携した教育活動や地域交流の拠点となる多目的ホール等を配置することで、地域にとって利用しやすい学校を計画します。

2. 周辺環境に配慮した学びづくり

- ・近隣建物に配慮した離隔距離の確保や、柔らかな形態・勾配屋根の採用等により、周辺への圧迫感や日影の影響を抑えた計画とします。
- ・外周部に歩道状空地や緑地帯を整備し、子どもたちや歩行者の安全性を確保するとともに、潤いのある緑で周辺環境を向上させます。

3. 子どもたちの豊かな居場所づくり

- ・観客席のような「わいわいテラス」を学校のシンボルとして整備することで、緑側の利用、日常の活動スペース、運動会時の観覧スペース等、様々な活動に利用できます。
- ・身体能力に差がある子どもたちのための運動スペース「キッズグラウンド」を整備し、子どもたちが楽しく安全に遊べる魅力的な遊具を配置します。
- ・環境配慮手法の見える化、中央の吹抜を活用した自然採光・自然通風を基本とした計画等、施設全体が環境教材となる計画とします。

4. 学習環境の選択肢を広げる

- ・学年のまとまりとしての教室を子どもたちが落ち着ける「いえ」、ワークスペース等の多様な学習と交流の場を散りばめた吹抜周りのオープンな空間を「にわ」、メディアセンターや特別教室を多様な情報が得られる「まち」として、施設全体が学びの場となるよう整備します。
- ・学校の中心にメディアセンターを配置することで、教室との連携や日常利用を促し、楽しく主体的に学習できる心地よい学習環境をつくります。
- ・普通教室はオープンスペースとの一体利用等、「柔軟で創造的な学習」が可能なレイアウトとします。

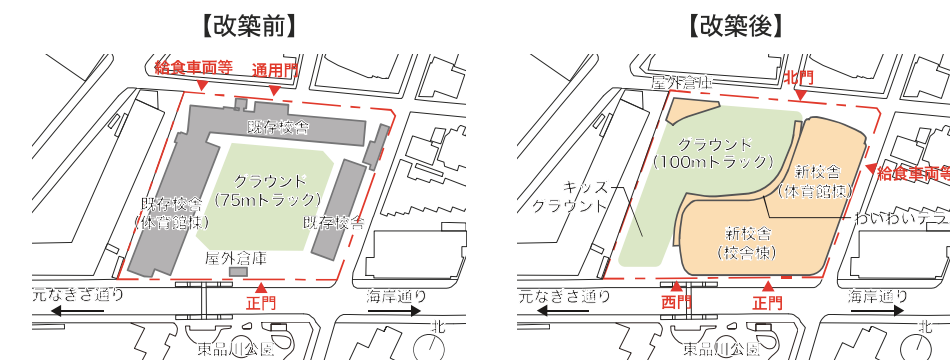
5. 安全・安心をかたちにする

- ・ハザードマップを踏まえ、水害時でも水没しない2階レベル以上に避難場所となる体育館と教室を配置し、「わいわいテラス」により災害時の避難ルートや滞留スペース、避難が長期化した際の独立動線として、それらをつなぐ計画とします。
- ・正門やグラウンドに面した管理諸室により、子どもたちが安心して学習できる環境をつくります。

■建物概要比較表

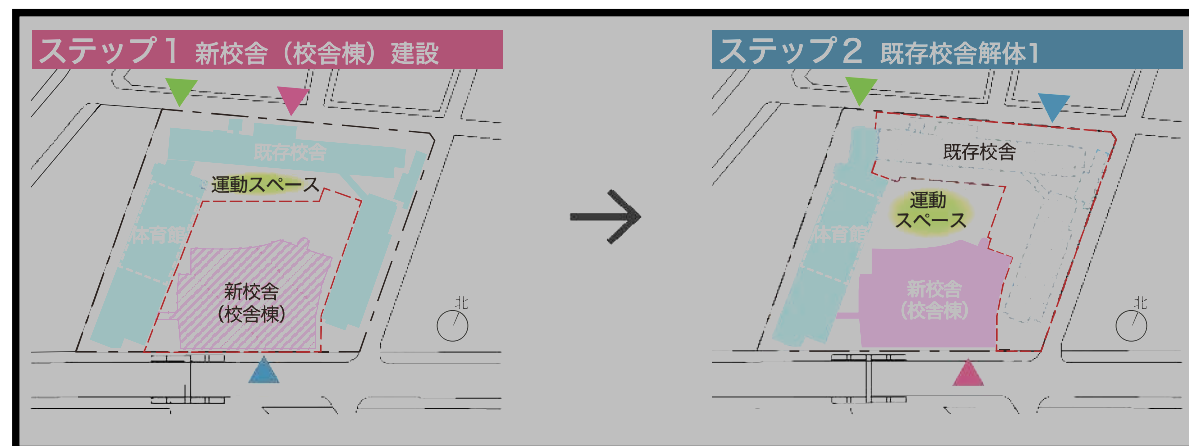
	既存校舎	新校舎
延床面積	約 5,300 m ²	9,639.78 m ²
建物高さ	約 14.5m	21.35m
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
階数	校舎：3 階建、体育館：3 階建	校舎棟：5 階建、体育館棟：4 階建
普通教室	18 室 (+多目的教室 2 室)	18 室 (+多目的教室 6 室)
特別支援室	特別支援教室 1 室	特別支援教室 1 室
多目的ホール	なし	1 室
体育館	約 470 m ²	約 710 m ²
グラウンド	約 2,200 m ²	約 2,500 m ²

■新旧建物配置比較

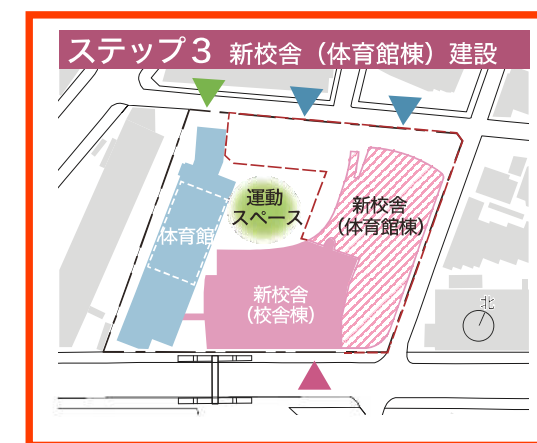


■建替計画

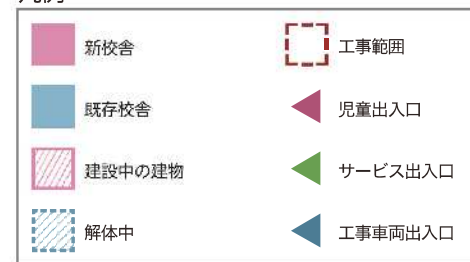
ステップ1-2：工事完了済みの範囲



ステップ3-5：工事未完了の範囲（遅延が発生）



凡例



※令和8年7月現在、地中障害物の発生や中東情勢に伴う資材供給の不安定化の影響等により上記ステップ3-5の期間に遅延が生じる見込みであり、遅延期間については精査中